



Next is us

日体魂を受け継ぐ者

2020年に向けて、
日体大から世界のすべての人々へ
スポーツの魅力と平和への願いをつないでいく。

Special Contents

03 スポーツ救急をひもとく

①スポーツ救急とは?

鈴木 健介 保健医療学部 救急医療学科 准教授

07 必ずチェックしよう!
学内AED設置場所MAP

09 活躍するOB・OG

日体大サッカー部で培った「体力」「勝負魂」「団結力」。
弛まぬ努力と研鑽で、重く危険な任務を確実に遂行する。

岸本 寛 氏

防衛省 航空自衛隊 航空総隊司令部 防衛部 運用課 計画班長 2等空佐

チームのために、お客様のためにベストを尽くす。日体大の同期から、
自分にできることを考え、ひたむきに努力を続ける大切さを学んだ。

大槻 さわ子 氏

神奈川トヨタ自動車株式会社 中店 営業担当

13 教員志望の日体大生を
力強くサポート

教職支援センターを知る、活かす、夢に近づく

Report④ 教員採用試験対策の取り組み

教員採用二次試験対策講座・教員希望者向け宿泊研修

15 Next is us 日体魂の聖火リレー

～日体魂を受け継ぐ者～

第6回 勝つために徹底的に自分を追い込む。頂点に立つために妥協はない。

山口 海輝 選手(レスリング)

17 JENESYS2017(テーマ:バドミントン)に
本学関係者17名が参加18 第18回アジア競技大会で
本学の関係者が活躍!19 第52回日体フェスティバル2018
元気・笑顔 ∞第56回体育研究発表実演会
～「共生」から「心」ひとつに～

誰かのために

▷深刻な災害が発生するたびに、人々の絆の大切さをあらためて実感させられる。私たち一人ひとりが、本学の強み、そして各自の強みを活かして役割を果たしていかなければならない。

▷その最も重大な局面は、命に関わることであろう。スポーツを専門とする者として救急対応の知識は不可欠である。他者や社会に貢献するためには、日々の心がけや実践がなにより重要だ。それは、卒業して実社会に出てからも同様であらう。今号では自衛官とビジネスパーソンとして活躍するOB・OGを紹介した。共通するのは、社会や顧客のために弛まぬ努力を続けていることである。大学4年間は、その助走期間であると考えたい。

▷今回の体育研究発表実演会のテーマは『～「共生」から「心」ひとつに～』である。誰かのために、人を思い行動することで絆はいつそう深まっていく。2020年に向けて、世界中の人々の幸福のために行動を加速していきたい。

学報NITTAIDAI(ニツタイダイ) 54号

発行日●2018年11月1日

発行●日本体育大学広報課

TEL 03-5706-0948

FAX 03-5706-0922

http://www.nittai.ac.jp/

制作協力●(株)図書出版

本学は、スポーツ、教育、健康・医療、文化などの資源を活かして、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいる。それを担うのは、学生一人ひとりの自発的・主体的な行動である。

今年、西日本を中心とした豪雨・台風、北海道胆振東部地震などによる被害に見舞われた。被災地支援ボランティアの活動に期待が集まる昨今、本学では平成23(2011)年に発生した東日本大震災の際に、「日体大スポーツキャラバンー平成24年度体育研究実演発表会ー」を岩手県・宮城県・福島県の3県4会場で開催するなど、多岐にわたる支援活動を展開した。また、平成28(2016)年の熊本地震でも、かつて日体大集団行動チームが合宿を行った熊本県宇城市などで復興支援活動を行った。全国各地で活躍するOB・OGを模範に、日体大の誇りと責任を持ち社会に出てからも行動していく必要がある。

また、国内外のさまざまな競技大会でも日体大生が華を添え、あるいはボランティアとして運営を支えている。国際的な競技会の運営の協力では、昭和39(1964)年の第18回オリンピック東京大会に関係したものが最大だが、以前からその機運は高まっていた。昭和33(1958)年に東京で開催された第3回アジア競技大会では、1,200名の学生が連日協力したほか、マスゲームや創作ダンスを披露した。前回のオリンピック東京大会では、全学的な協力体制をとり、開会式の予行に621名が出場したのをはじめ、大会期間中は補助役員として多くの学生・教職員が協力している。また、ユニバーシアード夏季大会が昭和42(1967)年に東京で開催されたときは、2,000名におよぶ教職員と学生が協力し、開会式では1,500名の学生によるマスゲームが観客を魅了した。

スポーツや地域を舞台に、それぞれが持てる能力・資質を活かして貢献することが期待される。勇気をもって最初の一步を踏み出すことが大切だ。そして、東京2020オリンピック・パラリンピックでは多くの力が必要とされている。



日体大とボランティア、 競技大会への協力



日体大スポーツキャラバン(平成24年)



集団行動はさまざまな競技大会にも招聘され華を添えている

第1回

スポーツ救急とは？

競技・学校現場はもちろんのこと、広くスポーツの実施人口の増加を受けて、事故や急性疾患、外傷など、緊急時に遭遇する場面も増えてくると考えられます。

日体大生やOB・OGは、その対応で中心的な役割を担うことが求められます。

そこで、スポーツ救急の基本理解や知っておきたい知識・技能を紹介します。



鈴木先生からのメッセージ

人が亡くなると、その家族や関係する人は、突然、非日常になります。知っていればできたのに、と後悔しても遅いのです。目の前で事態が起きたとき対応できる技術は、今では絶対に身につけておかなければならないものです。特に本学は将来を嘱望され、日本のスポーツ界をリードする学生が多くいます。心肺停止は可能性は低いかもしれませんが、一定の割合数は必ず起こります。そんなときのためにもスポーツ救急に関して、スポーツで日本一の大学だからこそ、スポーツ救急でも日本一をめざし、全学をリードしていきたいと考えています。



【プロフィール】

ナビゲーター

鈴木 健介(すずき けんすけ)

保健医療学部 救急医療学科 准教授
1984年、東京都生まれ。日本医科大学博士課程修了。救命救急士・博士(医学)。2015年に日本体育大学保健医療学部助教、2018年に准教授に就任し、現在に至る。現在も日本医科大学多摩永山病院 救命救急センターで救急救命士として命をつなぐ現場に従事する。

スポーツ救急をひもとく

Q1

「スポーツ救急」の定義を教えてください。

「スポーツ救急」とは一言でいうと、スポーツの競技などで起こる緊急事態に対応することです。スポーツにはそれぞれ特性があるので、起こりうる事態を予測することや、対応できる医療の準備をすることができます。そのしくみを構築することがスポーツ救急です。これまではスポーツドクターやトレーナーの方が個別に対応していましたが、しくみをつくってシステムとして対応することを目指しています。

スポーツ中に突然心臓が停止することは、実は少なからず起きています。スポーツは健康のためや、仲間たちと同じ目標を目指すなど、素晴らしい面がある一方、あまり表には出てきませんが、突然心臓が止まるという事態は確実に起こっているのです。「学校の管理下の災害(平成29年度)」「(スポーツ振興センター)によると、小学校や中学校など、大学以外の学校で32%の人が体育や運動中に亡くなっています。

2011年には、さいたま市の小学6年生の女兒が、駅伝の課外練習で亡くなる事故が起きました。実はこのときこの女兒は、死戦期呼吸と呼ばれるゆっくりとした呼吸をしていて、それを呼吸があると判断して、校内にあったAEDを使っていなかったのです。死戦期呼吸とは心停止直後に起こるもので、その一例としてあえぐような呼吸があります。この場合は直ちに胸を押したり、AEDを使ったりしないといけなかったのです。

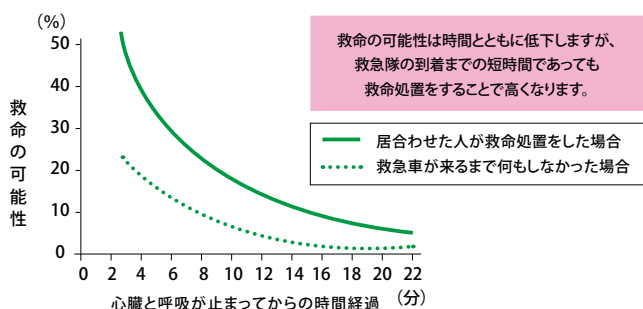


ペットボトルを使用した心肺蘇生法講習の様子

もしあのとき適切な判断ができていれば、女兒は亡くならずに済んだかもしれません。このことを踏まえ、さいたま市教育委員会は、緊急の事態が起こったときに対応できるように、女兒の名前を付して「体育活動時等における事故対応テキスト・ASUKAモデル」を作成しました。体育の授業などのときには割合は低いかもしれませんが、やはり一定の確率で心肺停止という事態が起きています。そんなときにAEDが使えないと過失になりかねません。また、スポーツをする側だけでなく、スタジアムなどで見る側にも心肺停止のリスクがあります。集客イベントでは、そういう備えも必要なのです。

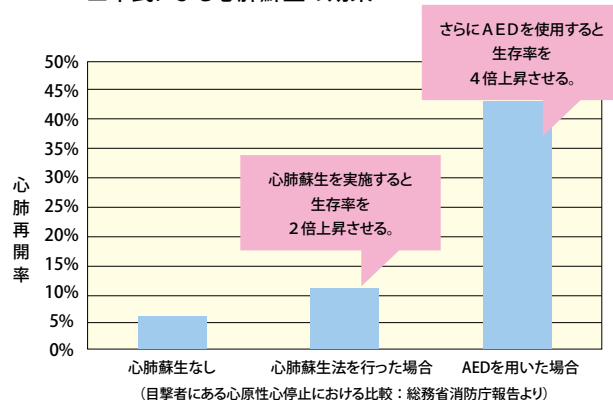
健康増進もあり、スポーツの裾野が広がっています。参加する人、見る人が増えている昨今では、心肺停止に備えることは危機管理のスタンダードだと強く思います。

■救命の可能性と経過時間



[Holmberg M.Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 2000;47(1):59-70より引用・改変]
日本救急医療財団心肺蘇生法委員会 改訂5版 救急蘇生法の指針2015市民用・解説編から引用

■市民による心肺蘇生の効果



Q2 心肺蘇生法とはどのようなものでしょうか？ 手順も併せて教えてください。



心肺蘇生法とは、動

きの止まった心臓を再び動かすためのもので、胸部を強く、強く、そして絶え間なく押すことです。心臓が停止して約3分後から脳の細胞が壊れだすといわれています。そのため、

1秒でも速く胸を押すことができれば、亡くなる可能性を低くしたり、何の後遺症も残さず助かる確率を上げたりすることができます。そのために最初に緊急事態を発見し、対応するファーストレスポンスといわれる人が的確に行動できる体勢を取る必要があるのです。そのことを踏まえて心肺蘇生法の手順について説明します。

まず、最初に周囲の安全を確認することが大切です。例えばマラソン大会などで目の前で人が倒れ、慌てて駆け寄ると、後から走ってくる人に衝突し、二次災害が起きかねません。一歩立ち止まって、今行つて大丈夫かどうかを確認してください。

次に「大丈夫ですか」などと声をかけ、意識を確認します。もし意識がないなら、人を集め119番する人、胸を押すことを交代できる人などの役割を分担してください。そしてこれが重要ですが、誰かに経過を記録してもらうことです。何分に倒れているのを発見し、何分に119して、何分に心肺蘇生を始めたかを時系列で記録してください。その後、救急隊が来たときに状況を把握してもらい、対応

を的確にするためにとても有効になります。

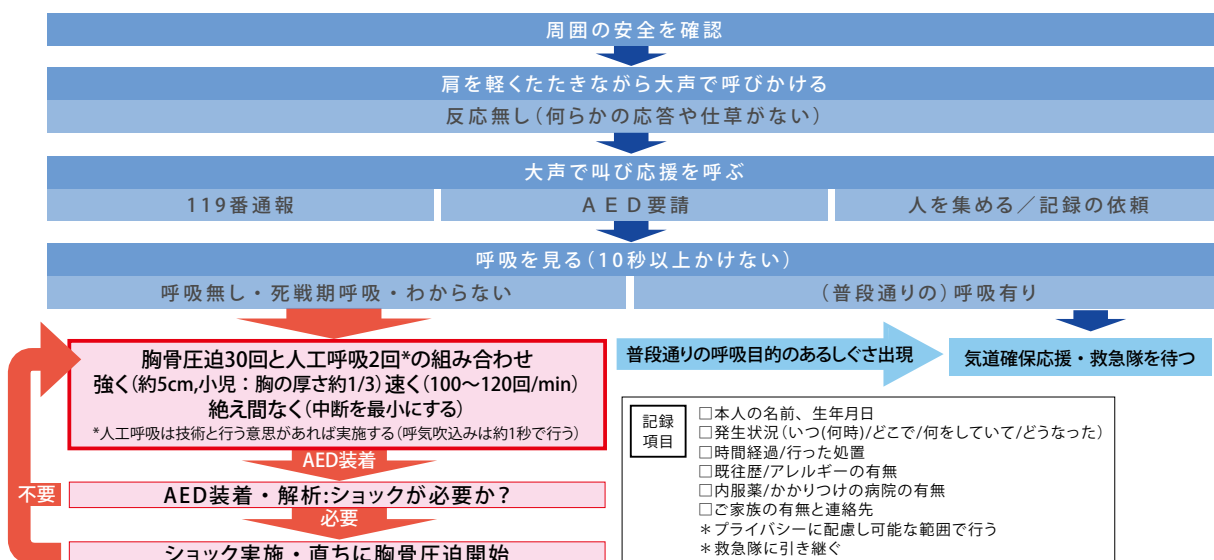
また、電話で救急車を呼ぶ際、消防の担当者から何を聞かれるかを知っておくことも重要です。必ず、今いる場所と、意識があるか、呼吸をしているかなどを聞かれます。それがわかっているか、いないかでは大きな差になります。

119番通報やAEDの依頼後、呼吸の確認を行います。

呼吸の確認は10秒以内で行ってください。胸やお腹の動きを見て、普段通りの呼吸があるか、またはわからない場合は胸骨圧迫を開始してください。判断に迷った場合は、胸骨圧迫をして、普段通りの呼吸が出現したり、目的のあるしぐさが出たら中断すればよいので、迷ったらずに胸を押すようにしてください。

1分間に100～120回の頻度で胸の真ん中を肘を伸ばして約5センチ押します。その際、ただ胸を押しているだけでは、このリズムでいいのかわからなくなることもありますが、例えばプリンス・プリンスの歌「ダイヤモンド」などを思い浮かべると、正しい回数で押せます。人が倒れているときは、なるべく動かすなどよく言われます。しかし、いつも仰向けで倒れているとは限りません。うつ伏せや椅子に座ったまま心肺停止の場合もあります。それでは胸を押せませんので、意識がなく呼吸が確認できない場合はできるだけダメージの少ない方法で動かして呼吸の確認をしてください。

心肺蘇生法は勇気のいることですが、その行動でその人や、家族、そして周りの人の人生を守ることができるのです。



Q3 スポーツ救急手当について学ぶには どのようなアプローチがありますか？

一般的には消防署や日本赤十字社、アメリカン・ハート・アソシエーションなどで実施されている救命講習を受けることができます。参加できる場所や時間を決めれば、基本的に誰でも参加できます。ただ、

ないと身につかないものです。

そこで講習を受け、一定のレベルに達すると技能認定証が交付されます。ただし、そこで得たスキルや認定証は、いつまでも有効というわけではありません。最低でも3年に一度は更新し、身につけたことを忘れないようにしたり、新しい技術にブラッシュアップしたりすることも大切です。

日体大ではスポーツの特性を分析し、ルールなどを考慮した講習会を行っています。例えばマラソン大会を想定したものの場合、ランナーが走っている状況をつくり、そこで講習を行うこともあります。日体大の救急医療学科では公開講座を開いたり、依頼があれば講習会を開いたりもしています。



Q4 日体大ではスポーツ救急の普及・指導に どのような取り組みをしていますか？

現在、学内ではアスレチックデパートメントのコーチングエクセレンスセンターで、コーチや、これからコーチを目指す人向けに、心肺蘇生法や熱中症対策などの講習を行っています。救急医療学科が開設されて5年目になりますが、公開講座も随時行っています。今は「心肺蘇生法」というワードで情報発信していますが、今後は「スポーツ救急」としてアスリート、選手、指導者など広めていきたいと考えています。

実は3年前、横浜アリーナで開催した本学の「第53回体育研究発表実演会」で一般来場者の方が突然意識を失い心肺停止になりました。そのとき、もしもに備え、しっかり準備をしたことと、第一発見者の方が的確な処置をしたおかげで、その方はなんら後遺症もなく回復されました。これらの迅速な対応は称賛されるべきですし、そのことを大きく広めていくべきことだとも考えています。準備をしていたからこそ救えた命です。



学内AED設置場所MAP

万が一のときに備えて、日頃から AED の設置場所を把握しておきましょう。



東京・世田谷キャンパス (18台)



AED はこのマークの表示場所にあります。

教育研究棟 (11台)

● 2F



● 1F



● GF



● BF



● 6F



● 5F



● 4F



● 3F



日体会館 (1台)



● 健康管理センター付近 (BF)



● 守衛室 (警備員に要請)



● 日本体育大学クリニック (GF)
(業務時間のみ使用可)



スポーツ棟 (6台)

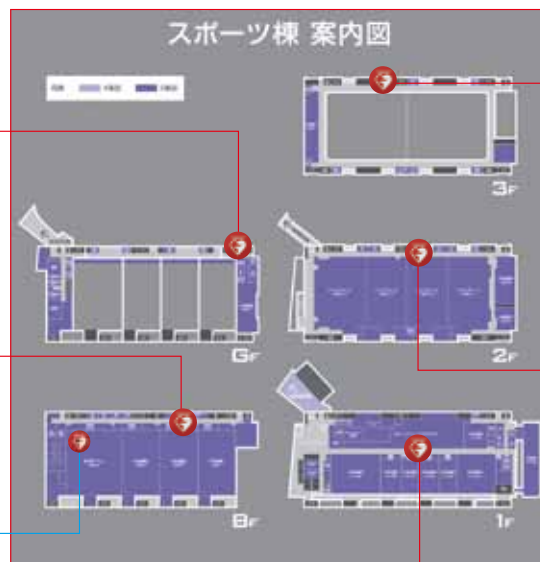
● GF



● BF



● BF プール (プール内のみ使用可)



● 3F



● 2F



● 1F



必ずチェックしよう!

緊急時は一人ひとりが当事者意識を持って対応することが必要です。

横浜・健志台キャンパス (25台)



AEDはこのマークの表示場所にあります。

●ゴルフ教場



●野球場 3 塁側ベンチ内



●第三体育館Ⅱ



●健康管理センター
(業務時間のみ使用可)



●(9号館) 1,2,3 階



●プール採暖室



●第一体育館玄関正面



●ビーチバレーコート器具庫内



●アーチェリー場



●ラグビー場水飲み場内



●サッカー場水飲み場内



●(8号館) 1,2,3,4階



●体操競技館入口右手



●日本体育大学スポーツセンター
横浜・健志台接骨院入り口



●トレーニングセンター入口正面



●米本記念体育館
第2アリーナ入口正面



●米本記念体育館
第1アリーナ1階担架上



●正門守衛所
(警備員に要請)



●陸上競技場内



日体大サッカー部で培った「体力」「勝負魂」「団結力」。 弛まぬ努力と研鑽で、重く危険な任務を確実に遂行する。

スポーツの大きな使命のひとつが国際交流、平和への貢献である。日体大でも海外ボランティアなどへ学生を派遣し、その一翼を担っている。人のために役に立ちたいという思いは日体生なら誰でも同じだろう。緊張が続く国際関係、また想定を超える自然災害が多発するなかで、人々の安全と安心のために任務に励み、日々研鑽を重ねているOBがいる。航空自衛隊で活躍する岸本覚さんだ。その誇り高い任務は、スポーツで養われた能力や素養を遺憾なく発揮できるフィールドと言えるだろう。

国民の期待に応えるため 愚直に任務に取り組む

皆さんは自衛官にどのようなイメージをお持ちでしょうか？

戦闘機パイロットなど、一見華やかに見える一面がある一方で、国や人々の安全を守ることは地道な訓練や研究の積み重ねです。そうした努力や自学研鑽を淡々と続けて、何事もなく任務を終えるとき、このうえない喜びとやりがいを感じます。

私が自衛官を志したのは、大学2年生のときに発生した阪神淡路大震災（1995年）がきっかけでした。人命や国を守る仕事に就きたいと考えたのです。そのころ、横浜・健志台キャンパスの上空には戦闘機が飛び交っていました。当時、米軍空母の艦載機の陸上基地は厚木基地で、それは米軍の戦闘機でした。そんなことから航空自衛隊の仕事に興味を覚えて、いまの私があるわけです。

入隊後はおもに戦闘機パイロットとしての道を歩んできました。正式には「飛行」と言う職種で、戦闘機をはじめ輸送機や救難機など、航空自衛隊が運用する飛行機にはさまざまな種類があります。

やはり、初めて一人で飛んだときの思い出は印象に残っています。操縦の訓練は一步間違えば命に係わるため、厳しい訓練が行われます。教官が同乗する訓練を10回ほど経験した後、初めて一人で飛ぶことが許されます。それだけに、うれしさもひとしおでした。部下を指導する立場になっても、安全管理には



活躍する

OB

防衛省 航空自衛隊
航空総隊司令部 防衛部
運用課 計画班長 2等空佐

岸本 覚氏

INTERVIEW

非常に気を遣っていました。その際には、自分から模範を示すことを心がけました。指導にしっかりと従ってくれた部下のおかげで、事故なく任務ができ、本当によかったと思っています。

そして、パイロットの任務とともに、司令部での勤務もあります。ちょうど現在は、航空総隊司令部に配属されています。航空総隊は、戦闘機、地对空ミサイル、救難機など、有事の際、戦闘に直接関わる戦力を運用します。その司令部は、作戦計画を立て、部隊を指揮するための中枢の部署です。航空総隊司令官が指揮官であり、指揮官の指揮を補佐するのが現在の任務です。

報道されているように、昨今の安全保障環境は緊張感を増しています。現場の状況やそこで有効な戦術は常に変化します。いまの情勢をしっかりと認識し、変化を厭わず、最良の運用を追及していかなければなりません。やるべきことを愚直に、現状に満足せず自学研鑽を続ける必要性をあらためて感じています。



横浜・健志台キャンパスを 空から眺める

小学生時代からサッカー三昧でした。出身高校の市立習志野高校(千葉県)は、私が在籍する少し前から、同じ県内のライバルである市立船橋高校を倒して全国大会出場を果たすまでになっていました。日体大へ進学したのは、サッカーでさらに上を目指してみたいという思いがあったからです。

日体大サッカー部での思い出と言えば、長期休暇中の遠征が挙げられます。日体大でももちろんサッカーひと筋。優れた指導者や競技に打ち込める環境が整っているのが素晴らしいと思いました。

学生生活ではスキー、スケート、水泳、キャンプなど、実習がとても記憶に残っています。特に海浜実習では、まだ水の冷たい4月末頃からひたすら練習して遠泳に備えました。

やはり、日体大の4年がなかったら、自衛官を志すことはなかったかもしれません。そして、日体大で学んだことは自衛官としても大変に役立っています。いま、自衛官が天職と思うようになったのも、日体大での経験のおかげです。そのことは私の誇りです。苦しいときほど「よい機会、せっかくだから楽しもう」という気概で皆さんががんばってほしいと思います。

現在はデスクワークが基本ですが、操縦技能を維持するために定期的に飛行訓練を行っています。その際に、横浜・健志台キャンパスの上空を飛ぶことがあります。かつて私



がグラウンドから見上げていた戦闘機を、いまは操縦しているわけです。上空から、皆さんの健闘をお祈りしています。

岸本 寛(きしもと さとる)／体育学部体育学科、1998年卒。千葉縣市立習志野高校出身。日体大卒業後、防衛省・航空自衛隊に入隊。自衛官として約20年勤務するなかで、特に印象に残っているのは、築城基地(福岡県)所属の第6飛行隊で飛行隊長を務めたときのこと。F-2戦闘機を直接運用し、日々訓練と任務に励み、まさに最前線で活動した。防衛省(東京・市ヶ谷)、防衛大学校(横須賀)など、関東での勤務は通算5年ほどしかなく、多くを九州で過ごしてきたため、サッカー部のメンバーとなかなか会うことができないのが残念だと言う。趣味はゴルフ。スポーツを愛する気持ちはいまま変わらない。



自学研鑽を続けること。 現状に満足せず、 視野を広く持つてほしい。

自衛官の任務にはスポーツと共通する素養が多くあります。体力はもちろん、勝負魂、団結力といったものは日体大で磨かれたものです。それは、実社会のどのような仕事でも広く求められていることでしょう。

しかし、時々刻々と社会の情勢は変化していきまますから、学生時代に培ったことを土台にしても、常に自学研鑽を続けていかなければなりません。社会に出ると学ぶべきことは無限にあります。失敗を恐れず、挑戦を続けていってほしいと思います。どうか「よい仕事」をしてください。

さらに言えば、スポーツという専門分野を極めながらも、視野を広く持つことが大切です。自衛官も他の職業も、国際社会とのつながりなくして、成り立たないことは言うまでもありません。諸外国はよい意味でライバルです。同時に共存共栄を目指すパートナーです。2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、日本は世界からいつそう注目されていくでしょう。その意味で、英語は非常に重要です。アスリートとして、社会人として、必須の素養になると思いますので、いまからぜひ勉強されることを希望します。

かつての私もそうでしたが、災害等の過酷な現場で活動する自衛官の仕事に憧れを抱く皆さんもいることでしょう。今回お話ししてきたように、その活動を支えているのは、熱い情熱、使命感、絶え間ない努力です。こうした素養を十分に備えている日体生が、競技や実社会でいつそう活躍されることを期待して止みません。結果を出すことはもちろん、そこに至るプロセスも大事にしてがんばってほしいと思います。

チームのために、お客様のためにベストを尽くす。日体大の同期から、自分にできることを考え、ひたむきに努力を続ける大切さを学んだ。

なんのためにスポーツや仕事をするのだろうか？ もちろんアスリートは勝つために、あるいはレギュラーの座をつかむために練習に励む。しかし、大切なのは目標に向け努力を継続することだ。諦めず、妥協せず、いかに信念をもって努力を続けたかがその後の人生を左右する。営業という競争の厳しいフィールドで活躍する大槻さん。日体大・軟式野球部(女子)時代と同様に、お客様のため、スタッフのため自分にできることを考え、絶え間ない努力を続けている。そのひたむきな姿勢は日体大時代の同期から学んだという。

お客様に支えられて 頂いた年間表彰

神奈川トヨタ自動車(株)に入社して7年目になります。昨年、店舗での営業担当から、法人のお客様を対象とした外商スタッフへ立場が変わりました。トヨタ販売会社グループは全国にあり、各社が年間表彰として優秀な社員を表彰しています。光栄にも、私はこの年間表彰を頂くことができました。お客様、社員の皆様のおかげだと思っています。

私は決して順調なスタートを切ったとは言えませんでした。新入社員が最初に車を売ったとき、これを「1号車」と呼びますが、同期が夏には達成していたのに、私は10月になってからでした。そして、先輩からお客様を引き継いだり、新型車の発表がされたりしたこともあって、だんだん契約がとれるようになったのは、1年目の後半になってからです。

今でも日体大時代の友人から「営業をやっていることが信じられない」と言われるほど、私は人見知りです。就職活動のスタートも遅かったうえ、当時興味のあったスポーツや観光関連の会社を回つても、なかなかしつくりきませんでした。そんなとき、お客様と長くお付き合いできる仕事がしたいと考えて、現在の仕事を選んだのです。車は売ったらそこで終わりではなく、メンテナンスや買い替えなど、ずっとお付き合いが続きます。中でも当社は高級車を扱っていることが魅力でした。お客様の信頼を得て長くお付き合いして頂く。何百万、あるいは一千万円を超える車を買って頂く。



活躍する

OG

神奈川トヨタ自動車株式会社

大槻 さわ子 氏

INTERVIEW

そのためには、自分もそれに相応しい人間に成長しなければならぬ。そのことに非常にやりがいを感じました。

今、外商スタッフとしてたくさんのお客様にかわいがって頂いていますが、いわゆるトップセールスになりたいと考えたことはありません。何百万もの車を買って頂いたのですから、お客様に車で不便な思いは絶対にして頂きたくないという思いで、トラブルやメンテナンスの際に誠心誠意対応してきました。まだまだ経験の浅い私から買ってくださったなんて感謝の気持ちでいっぱいです。そういう自然な気持ちで精一杯の対応をして、気が付いたらお客様が増えていったような気がします。

新人のときに故障の対応をして、2年後に「君から買おうと決めていた」とおっしゃって来店くださったお客様。遠方にもかかわらずいつも指名してくださるお客様。さらに、そういう方々が何人もの新規のお客様を紹介してくださる。こうした出会いやお付き合いがなによりの励みになります。



自分がやるべきことを 尊敬する仲間たちから学ぶ

私立の中高一貫校に在籍していましたが、スポーツに力を入れている学校ではなく、リーグ戦でも寂しい思いばかりしていました。ソフトボール部の恩師の先生が日体大出身だったこと、強いチームでプレーしてみたいと憧れて日体大へ進学しました。

硬式野球部(女子)に入部すると、当然のことながら、小学校から野球をやっていた推薦で入学したり、運動神経も並外れた選手ばかりです。私と言えは「なんで日体大に来たの?」と冗談半分で言われたほど、技術や運動能力はまったく自信がありませんでした。多いときには部員が60名ほどいて、最後までレギュラーやベンチ入りを果たすことはできませんでした。

一方で、同期の中には、大学で初めて野球にチャレンジした人もいました。その意欲や勇気に脱帽するばかりです。チームに貢献しようとひたむきに努力を続けていました。そんな姿を見て、私もチームのためになができるかを考え必死で努力を続けるようになりました。守備もうまくないなら、代打でチームに貢献できるかもしれないと考えて、1年365日のうち360日、素振り続けました。努力を続けることやチームプレーの大切さを同期から学んだのです。同期の存在は支えになりました。

今、営業の仕事で走り続けることができるのも、日体大の経験のおかげです。数字を追求する営業は、ここまでいいと思っただけで終わります。でも、自分がこだわり続けていけばチャンスを広げることができる。さらに、チームプレーも必要



大槻さわ子(おおつき さわこ)／体育学部体育学科、2012年3月卒。横浜女学院中学校高等学校出身。勤務先の神奈川トヨタ自動車(株)中店(横浜市中区)は、横浜市の中心部に位置し多くのお客様が訪れる。外商スタッフに変わったのは、担当するお客が増え、法人回りにほとんどの時間が割かれるようになったから。実は飛び込み営業は今も苦手とか。その代わり、取引のあったお客様のためには労を惜しまず奔走し、多くの紹介客を得ている。日体大の入試の実技試験も、入学後の実習や実技の授業も必死で乗り越えてきたという。持ち前のバイタリティーが現在の活躍を支えている。



です。店舗全体の営業目標もあって、もし個人の数字がでていなくても、フォローし合うことができるのです。「自分が試合に出ないからもういいや」ではなく、代打でも、代走でも、自分にできることでベストを尽くす。そういう考え方ができるようになりました。

大学4年間がすべてではない

軟式野球部(女子)時代も、社会人のスタートでも、そして今も、自分自身に自信があるとは正直なところ思えません。でも、それがわかっているからこそ、少しでも成長したい、お客様やチームのために力になりたいという思いでがんばってきました。

誤解を恐れずに言えば、競技で結果を出すことだけがすべてではないと思います。私のようにスポーツが必ずしも得意でない人もいるでしょうし、故障で挫折感を抱いてしまう人もいます。ただ「うまくなりたいたい」とか「チームの役に立ちたい」という思いをもって、少しでも前に進もうと努力を続けることが大事なのです。大学はたった4年間で、就職後の時間のほうがずっと長いのです。その努力はいつか必ず花開くと信じています。

そして、もちろん入学したときの初心は大切ですが、絶対にスポーツに関係する仕事に就かなければいけないと決めつけてしまうのはよくないのではないかと思います。自分と向き合うのは、辛いこともあります。でも徹底的に、広い視野で考えることで、自分のやるべきことや進むべき道が見えてくるはずです。スポーツに熱中するだけでなく、自分について考える時間をもってください。日体大の経験があれば、選んだ道が困難であっても進んでいくことができると思います。



Report ④

を力強くサポート



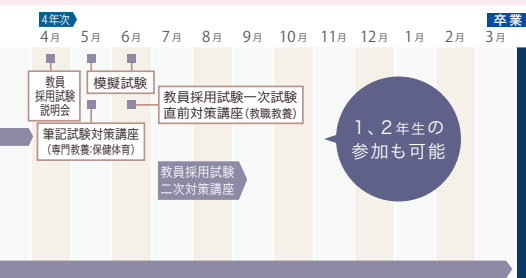
対策の取り組み

を講師としてお招きし、個々の課題をきめ細やかな指導により、解決へと導いています。「教員になること」がゴールでなく、教員として採用された後「即戦力として活躍できる教員」を輩出すべく、本学学生の実態に合わせた講座を開講していきたいと考えています。多くの学生の参加を期待しています。



試験対策関係の講座

スケジュール



教員採用二次試験対策講座

【目的】 学校教員採用選考二次試験に向けて実践的な対策を行い、採用試験合格を目指す講座です。

【本年度概要】 日時：2018年7月23日(月)～8月2日(木) 16:30～19:30
2018年8月3日(金)～8月22日(水) 13:00～17:00

場所：東京・世田谷キャンパス 各教室

内容：二次試験対策(個人面接、模擬授業、集団討議、面接カード・論作文・単元指導計画等の添削)

費用：無料

対象：当該年度教員採用試験を受験する在学生、および卒業生

【内容】 参加学生はその日毎に受講する対策プログラムを次の4種類から選択し、個々の課題に応じて適切な対策を図ることができます。

(①個人面接 ②模擬授業 ③集団討議 ④書類添削)

開講期間の途中からの参加も可能です。また各々が受験する自治体の試験日程に合わせて講座を受講することができます。在学生だけでなく、卒業生も受講可能なので、毎年多くの卒業生が本講座に参加しています。

ここが
オススメ!

- ・講師は1日8名～9名(いずれも学校管理職や教育委員会勤務経験者)をお招きしています。講座参加者は教育現場の現状やニーズを理解し、個々の課題に応じた指導を受けることができます。
- ・講座当日は、上記①～④のそれぞれの教室に分かれて実践的な演習を行います。例えば個人面接であれば、面接官と受講生に分かれて実際に模擬面接を何度も実施します。また受講生や講師がその日ごとに変わるため、毎回異なる意見や価値観に触れることができます。
- ・講座終了後には個別指導の時間も設けており、さらに深い内容を講師に相談することができます。また試験内容以外のことも相談することができるため、二次試験直前の不安解消に繋がります。

[中学・高校保健体育教諭]
東京都教員採用試験 現役合格
石川県教員採用試験 現役合格

[養護教諭]
北海道教員採用試験 現役合格

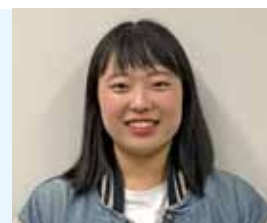
[小学校教諭]
新潟県教員採用試験 現役合格



村中 健哉 (体育学部体育学科4年)
現場で管理職を務めた先生方が指導してくださることで、学生では気づかない視点を得ることができました。私の授業が楽しんでもらえる教員になることが目標です。本気で教員を目指す方は教職支援センターの講座をぜひ活用してください。



牧 里美 (体育学部健康学科4年)
志望する自治体に合わせた対策や養護教諭を目指す学生同士の集団討論が役立ちました。中でも養護教諭専門の先生に面接指導いただき、安心して本番に臨むことができたと思います。一人ひとりに愛情を注げる養護教諭が目標です。



田中 由奈 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科4年
多くの先生方から経験に基づく有意義な情報や知識を得ることができました。共に頑張る仲間と情報交換したりアドバイスし合ったりできたことも良かったです。自分自身も児童とともに日々学び続け成長していきたいと思っています。



教員志望の日体大生

教員希望者向け宿泊研修

【目 的】 「切磋琢磨して互いに自己を高め合える“仲間”をつくる」「教育課題等に理解を深め、その解決の在り方等を学ぶ」ことを目指します。

【本年度概要】 期間：2018年9月15日(土)～9月17日(月) 2泊3日
場所：国民生活センター相模原研修施設
内容：二次試験対策（グループ協議、面接練習、論作文指導）
費用：約11,000円 宿泊費、食費込み
対象：体育学部・児童スポーツ教育学部（児童スポーツ教育コース）3年生

【内 容】 希望学校種毎に班を形成、学生5～8名に対して1～2名の講師がつき、3日間ご指導いただきます。講師は学内教員をはじめ、校長経験者や教育委員会勤務経験者をお招きしています。

- ①グループ協議：班毎に与えられた教育課題について討論し模造紙にまとめて発表する
- ②面接練習（集団・個人）：面接票を作成し模擬面接の練習を行い、講師と班員全員でフィードバックをする
- ③論作文指導：あらかじめ作成してきた論文を講師に添削、指導していただく。論文のない自治体は別途対応する

ここが
オススメ!

「なぜ3年生のこの時期に、二次試験対策なのか？」

二次試験では教員としての資質を問う面接、論文試験が多く、個人だけでは対策できない試験内容が多くなります。本番の二次試験からおおよそ1年前のこの時期に集中して一度対策しておくことにより、イメージをつかむことができ、何を勉強したらよいか理解できることで一次試験までの残り時間をより集中して取り組むことができます。

- ・二次試験の対策は教育時事や、学習指導要領の内容をより理解することにもつながり、結果的に一次試験対策となるメリットもあります。
- ・「教員になる」という共通目標を持ち、寝食を共にすることで教員採用試験に向けて共に勉強していく仲間ができます。
- ・学内の先生、講師の先生と強いつながりができ、いざというときに力になってもらえます。

中学・高校保健体育教諭志望

養護教諭志望

小学校教諭志望



関谷 彩（体育学部社会体育学科3年）
勉強に集中する環境が整っており、教育問題について深く理解でき、集中できた3日間でした。同じ目標に向かう仲間が増え、先生方のお話から視野を広げることができました。教員になりたいという思いがますます強くなったと感じています。



加藤 榛菜（体育学部健康学科3年）
24時間ずっと教員について考えることができ、勉強へのモチベーションが高まりました。これからギアを上げてがんばります。先生方をはじめ参加者の皆さんの「人としての考え方」を聞くことで自分の考え方の軸を広げることができました。



金子 幹（児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科3年）
「主体的・対話的で深い学び」の重要性が参考になりました。集団討論をはじめ実践的な指導が大いに役立ったと思います。いま学んでいることは今後必ず活かすことができるということをしっかり伝えられる教員になりたいです。

教員採用試験

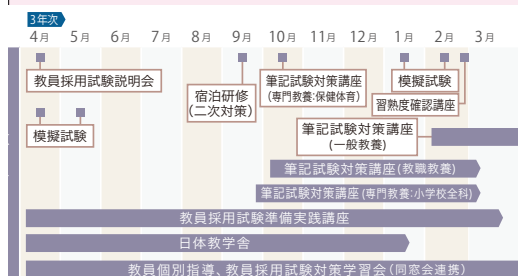
教職支援センターでは教員採用試験合格に向けて各種講座を開講しています。その最大の目標は「教員を志す熱意のある学生を、より質の高い教員として輩出する」ことです。

中でも、今回取り上げた「教員希望者向け宿泊研修」ならびに「教員採用二次試験対策講座」、次号掲載予定の「日体教学舎」を柱として、校長経験者や教育委員会勤務経験者



そのほか教員採用試

教員 就職活動





——レスリングをは
じめたきっかけ

父親が空手をやってい
たこともあり、幼い頃
から空手を習っていた。
小学校3年生のとき、
ある空手の大会の後で、
レスリングの指導者であ
った対戦相手の父親から、
レスリングをやらないか
と誘われたのがきっかけ
です。レスリングも格闘技
の一つなので、興味本位
で練習に参加してみました。
レスリングは空手の練習
にはないマット運動など
があつて面白く感じ、そ
れからレスリングがますます
楽しくなつて、レスリング
一本に絞つて練習するよ
うになりました。そして、
始めて1ヵ月後の和歌山
県大会に初めて出場し、
そこで優勝したのです。
もちろん嬉しかったです。
レスリングは本当に面白
いと実感しました。誘わ
れて始めた頃は、遊びの
一つぐらいに考えていた
のですが、優勝したこと
で、レスリングに対する
気持ちが変わりました。
レスリングに目覚めた瞬間
といえます。

——日体大へ進学すること、
運命だと思つていた

勝つ喜びを覚え、レス
リングの魅力にすっかり
取り憑かれ、もっと強くな
りたいと考え、選んだのが
日本体育大学柏高等学
校です。地元を離れるこ
とに不安はありましたが、
レスリングに誘つてくれ
た監督が日体大出身とい
うことと、その教え子と
一緒に行くので、やって
いける、やつてやると決
意しました。とにかく強
くなりたいという気持ち
がとてもしっかり膨らん
でいました。いざ入学し
てみると、レスリング部
は創部1年目でしたが、
全国からチャンピオンば
かりが集まり、個性派集
団で、プライドの高い人
ばかりですごく刺激にな
りました。そんななかで
切磋琢磨し合い、初め
てのインターハイで決勝
に進むことができました。
しかし、その相手には全
く歯が立たませんでした。
そんなとき、天皇杯を三
回制した森下史崇コーチ
が着任されました。
森下コーチのもとで練習
でき、そこでいつそ

勝つために徹底的に自分を追い込む。 頂点に立つために妥協はない。

うレベルアップした気が
します。自分にとって、
非常に貴重な経験です。

——日体大に勝る環境はない

高校のとき湯元健一先生
が日体大のコーチになる
ことを知り、オリンピック
で活躍していた方から指
導を受けたいと日体大に
進学しました。レスリン
グを始めた子どもの頃、
テレビで見た憧れの存在
から指導を受けられる
ことは、とても幸せなこ
とですし、自分のレスリ
ングがさらにレベルアッ
プしたのは言うまでもあ
りません。他の大学にも
練習に行くことがありま
すが、日体大ほど厳しい
練習をしている大学はな
いと感じています。これ
だけ練習をすれば必ず結
果はついてくるはずで
す。さらにレスリングに
限らず日体大にはオリン
ピックに出てメダルを獲
得した選手がキャンパス
にいて、そういう環境に
身を置くだけで自分のモ
チベーションがアップし
ますし、いろいろ見たり
聞いたりして学ぶことが
多いです。観戦する側だ
ったオリンピックが少し
ずつ現実のものになつて、
今はオリンピックが大き
な目標になっています。
そんな夢を描くことが
できるようになったのも、
日体大に進学したから
です。日体大に勝る環境
はないと思います。

——悔しさをバネに

高校3年のときですが、
天皇杯の準決勝で高橋侑
希選手と対戦しました。高
橋選手は大きな存在で、
対戦前は全く相手になら
ないだろうと思つていま
した。結果は4-0で数字
上では完敗でした。しか
し、そのとき思った以上
に自分の動きができたの
です。ひょっとしたら勝
てるかもしれないと思
いました。勝負はそんなに
甘くありませんでした。でも、
大きな力の差を感じなが
らも、可能性を感じ、大
きな自信になりました。自
分のレスリングにとつて
大きな節目となる試合
になりました。以来さら
に練習を積み、誰にも負
けないくらい練習をする
ようになりました。自分
を追い込んで、追い込んで、
自分以上に練習をして
いる人はいないのではな
いかというほど練習を
して試合に臨むようにな
りました。納得できるま
で練習をするのが、今の
私が大切にしていること
です。



Next is us

日体魂の聖火リレー

～日体魂を受け継ぐ者～

06

山口海輝

レスリング

ストイックに、勝利を、
納得のいくレスリングを追求する。
目指すは東京オリンピックで
頂点に登り詰めること。
日体ファミリーがその背中を押す。

[Next is us 日体魂の聖火リレー]

◆池選手からの質問に答えて

「レスリングは対一で向き合う競技ですが、勢いのある相手に圧倒されそうときや、試合中に恐怖心が生まれたとき、克服する方法はありますか」

相手が怖いくらいに立ち向かってくるときは、こちらが勝っていて残り時間が少ないときが多いです。それは対戦相手の方が焦っているからです。そんなとき相手に合わせるのではなく、例えばフェイントを入れるなどして、余裕を持って受けるように心がけています。そうすると、恐怖心はなくなります。

次号に登場するアスリートに向けて、山口選手からエールをいただきました

◆山口選手からのエール

いつも自分を信じて、自分が納得するまで、これ以上ないというくらい練習をしていますし、そうするよう努力しています。そして必ず結果はついてくると信じています。自分を信じて、前進していきましょう。

次号アスリートへ、リレー質問を展開していきます。ご期待ください。

——東京オリンピックで頂点を。結果は必ずついてくる。

子どもの頃、憧れだったオリンピックが、今では選手として臨むオリンピックになっています。オリンピックのような大きな大会は、気持ち強い選手が最後に勝利を手にすると思います。私はまだまだメンタルを強化し

なければなりません。目標をしっかりと見据えてトレーニングを積み、自分のレスリングができるし、結果はついてくると信じています。まず12月の天皇杯での優勝を目指します。そしてその先の東京2020オリンピックではトップを目指します。どんなにきつくても妥協しない。それが私の信条です。



◆プロフィール山口海輝(やまぐち かいき)／体育学部1年 レスリング部所属。日本体育大学柏高等学校卒業。全国中学選抜、全国高校選抜優勝、そして2018年には東日本学生選手権・春季新人戦で優勝と輝かしい戦績を残している。出身地の和歌山県から日本体育大学柏高等学校レスリングでのさらなる飛躍を目指して進学。監督、コーチ、チームメイトと、常に日体ファミリーの環境のなかで自己鍛錬を続けてきた。



JENESYS2017に (テーマ:バドミントン)

本学関係者17名が参加



「21世紀東アジア青少年大交流計画」JENESYS Programme(Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths)とは、大規模な青少年交流を通じてアジアの強固な連帯にしっかりとした土台を与えるとの観点から、日本政府により進められる事業です。バドミントンをテーマとしたJENESYS2017に、今回日体大からスタッフを含め17名が参加しました。訪問先のブルネイはバドミントンがとても盛んな国で、国王をはじめたくさんの人に愛されているスポーツです。UTB(ブルネイ工科大学)、IBTE(職業訓練校)、ブルネイナショナルユースチームとバドミントンを通して交流をしました。また、セリア油田地区、水上集落、新旧モスクの視察などもあり、ブルネイの様々な文化にも触れることができました。最後にはまとめ発表として、ブルネイの方々に、ブルネイと日本のお互いの魅力を発信しました。今後いっそうブルネイの魅力、日本の魅力を多くの方々に知ってもらえるよう、日体大からさらに世界中の方々に発信していきたいと考えます。

●プログラムの概要

JENESYS2017ー対日理解促進交流プログラムー
ブルネイ大学生派遣事業(テーマ:バドミントン)

派遣期間 平成30年2月23日(金)～ 3月3日(土)

派遣国 ブルネイ・ダルサラーム国

派遣人員 20名

- ・JICE(日本国際協力センター)スタッフ 3名
- ・日体大バドミントン部(スタッフ2名、男子7名、女子8名)

●プログラムの目的

日本とアセアン諸国との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらう事で対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的とする。

対日理解促進交流プログラムは、日本政府(外務省)が促進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するもの。

18th Asian Games 2018



第18回アジア競技大会で 本学の関係者が活躍！

平成30年8月18日～9月2日にインドネシアのジャカルタ、パレンバンにて第18回アジア競技大会が開催されました。日本代表選手団1096名（選手762名、監督・コーチ等264名、アディショナルオフィシャル70名）のうち、本学関係者からはチームリーダー3名、監督5名、コーチ18名、トレーナー4名、総務1名、選手67名（卒業生52名、在学生15名）の計98名が参加。多数のメダルを獲得し（金16・銀19・銅19）大活躍しました。



[メダル獲得者一覧]

競技	種目	学年	氏名	結果	競技	種目	学年	氏名	結果
水泳(競泳)	男子50m平泳ぎ	卒業生	小関 也朱篤	1位	レスリング	男子グレコローマンスタイル60kg級	卒業生	太田 忍	1位
	男子100m平泳ぎ	卒業生	小関 也朱篤	1位	ソフトテニス	女子団体	4年	尾上 胡桃	1位
	男子200m平泳ぎ	卒業生	小関 也朱篤	1位		女子団体	卒業生	黒木 瑠璃華	1位
	男子4*100mメドレーリレー	卒業生	小関 也朱篤	2位	フェンシング	女子フルーレ団体	1年	東 晟良	1位
	4*100mミックスメドレーリレー	卒業生	小関 也朱篤	2位		女子フルーレ個人	1年	東 晟良	3位
	女子4*100mリレー	卒業生	五十嵐 千尋	1位	柔道	男子60kg	卒業生	志々目 徹	2位
	女子4*200mリレー	卒業生	五十嵐 千尋	2位	バドミントン	女子団体	卒業生	佐藤 冴香	1位
	女子200m自由形	卒業生	五十嵐 千尋	3位		女子	2年	大竹 風美子	1位
	女子400m自由形	卒業生	五十嵐 千尋	3位	ラグビーフットボール	女子	3年	立山 由香里	1位
	女子400m個人メドレー	卒業生	清水 咲子	3位		女子	1年	田中 笑伊	1位
水泳(飛込)	男子3mシンクロナイズドダイビング	卒業生	坂井 丞	3位		女子	1年	平野 優芽	1位
	男子	卒業生	福島 文貴	2位		男子Quadrant	卒業生	内藤 利貴	2位
水泳(水球)	男子	卒業生	飯田 純士	2位	セパタクロー	男子Quadrant	卒業生	寺島 武志	2位
	男子	2年	コップ 晴紀	2位		男子Quadrant	卒業生	林 雅典	2位
	男子	卒業生	大川 慶悟	2位		男子Quadrant	卒業生	山田 昌寛	2位
	男子	卒業生	志賀 光明	2位		男子Quadrant	卒業生	小林 裕和	2位
	男子	卒業生	荒井 陸	2位		男子チームダブル	卒業生	内藤 利貴	3位
	男子	卒業生	足立 聖弥	2位		男子チームダブル	卒業生	寺島 武志	3位
	男子	卒業生	吉田 拓馬	2位		男子チームダブル	卒業生	林 雅典	3位
	男子	卒業生	荒木 健太	2位		男子チームダブル	卒業生	山田 昌寛	3位
	男子	卒業生	高田 亮	2位		男子チームダブル	卒業生	小林 裕和	3位
	女子	4年	新澤 由貴	3位	ハンドボール	女子	卒業生	多田 仁美	3位
体操競技	女子	卒業生	細谷 香奈	3位		女子	卒業生	原 希美	3位
	女子	卒業生	曲山 紫乃	3位	サッカー	女子	卒業生	有吉 佐織	1位
	男子団体総合	卒業生	長谷川 智将	2位		女子	卒業生	池田 咲紀子	1位
	女子団体総合	3年	中村 有美香	3位	自転車競技	トラック女子チームパシュート	卒業生	中村 妃智	3位
バスケットボール	女子	卒業生	鈴木 知佳	3位					

※JOCホームページより参照(9月18日更新より)

第52回 日体フェスティバル 2018

ステージやグラウンドでの学生企画をはじめ、各種スポーツ体験教室、公開試合、オリンピック展示などスポーツに関わる様々なプログラムをご用意しています。その他にも、人気お笑い芸人によるライブやライダーショー、緑日、働く車の展示、体力測定など幅広い世代の方にお楽しみいただけるフェスティバルとなっています。

●主な催し ミニ実演会 11月4日13時30分～

出演演目:エッサッサ、ダンス、体操、新体操、トランポリン、チアリーダー、セパタクロ、ダブルダッチ、ソングリーディング、和太鼓、朝鮮大学校 等 ※予告なく変更となる可能性があります
期間中、各種模擬店も出店します。



●開催期間：平成30年11月2日(金)～11月4日(日)
10時00分～17時00分(予定)

●開催場所：東京・世田谷キャンパス

●問合せ先：学生支援センター

TEL.03-5706-0904

プログラムの詳細は公式ブログ (<https://blog.nittai.ac.jp/festival/>)にてご確認ください。



第56回 体育研究発表実演会

日頃の練習、研究の成果を結集した「体育研究発表実演会」。今回は新たに「集団体操」を演目に加えます。小・中学校の体育授業や体育祭等で扱える内容を実演、提唱していきます。



①青森県大会

【開催日】平成30年12月1日(土)

【会場】青森県武道館 会場

【時間】開場14:00 開演15:00

②秋田県大会

【開催日】平成30年12月2日(日)

【会場】ナイスアリーナ(由利本荘アリーナ)

【時間】開場13:00 開演14:00

●演技種目:チアリーダー、アルティメット、武道・伝統芸能(和太鼓演奏・少林寺拳法・空手・剣道[抜刀術])、トランポリン、救急医療、新体操、体操競技、集団体操、ダンス、エッサッサ

●問合せ先：学生支援センター TEL.03-5706-0904

